

夜景サミット2016 inベトナム参加報告



- ☆ 訪問日程 : 平成28年7月25日から29日
- ☆ 訪問都市 : ベトナム ホーチミン市
- ☆ 主訪問目的 : 一般社団法人夜景観光コンベンションビューロー主催の
夜景サミットに参加のため
- ☆ 他訪問先 : JETRO (日本貿易振興機構) ホーチミン事務所
: ESUHA I (日本向け人材育成の実習生教育機関)

詳細は次ページ以降で報告

2016年8月26日

長崎市議会議員 馬場尚之

1. 訪問日程

| | 時 間 | 行 程 |
|-------------|-----------------|-----------------------------|
| 7/25 (月) | 18:50 | 議会 発 (マイクロバス) |
| | 19:30 | 長崎空港 着 |
| | 20:30 | 長崎空港 発 (JAL 616) |
| | 22:15 | 羽田空港 着 |
| 7/26 (火) | 1:25 | 羽田空港 発 (JAL 79) |
| | 5:15 | タンソンニャト空港 着 |
| | 14:00～ 15:00 | JETRO (日本貿易振興機構) ホーチミン事務所訪問 |
| | 15:30～ 16:30 | ESUHA I (実習生教育機関) 訪問 |
| | 17:00 | ホテル 着 |
| | 18:00～ 21:30 | 現地夜景視察 |
| 7/27 (水) | 14:00～ 16:00 | 夜景サミット in ベトナム出席 |
| | 18:30～ 20:00 | サミット参加者との意見交換会 |
| 7/28 (木) | 12:50～ 16:30 | ベトナム市内視察 |
| | 21:30 | タンソンニャト空港 着 |
| | 23:25 | タンソンニャト空港 発 (JAL 70) |
| 7/29 (金) | 6:55 | 羽田空港 着 |
| | 10:00 | 羽田空港 発 (JAL 607) |
| | 12:05 | 長崎空港 着 |
| | 13:00 | 長崎 着 |

2. 訪問都市：ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市（首都はハノイ）

人口：9250万人

面積：34万9241Km²（日本、37万8000Km²）

日本よりやや小さく南北に細長い地形、ベトナム戦争（1946年～1975年）以降、ドイモイ政策で国際協力を積極的に取り入れ、農民に土地の使用権を認めるなど、革新的な取り組みを行ってきており、政治の中心がハノイ、経済の中心がホーチミンと大別される。

現在ホーチミン市内では、総延長19.7Kmの都市鉄道1号線の建設工事を日本のODA（政府開発援助）で渋滞解消を目的に行っており、空港建設や病院建設も行っている。その他、日系企業の進出も多いとのこと。

また、人口構成の中で国民の平均年齢が29.6歳（2015年現在）と若いことは、戦後の安定時期から人口が増加したと推測され、若い人が労働市場に多いとのこと。しかし、賃金はいまだに安く、そのため近年では一般的にはバイクが移動手段となっており、街には4人・5人（家族はOK）が乗ったバイクなどが溢れており、日本人感覚での運転は無理だと感じたが、勢いを感じました。



街中にはバイク（ホンダ）が溢れている



家族であれば4人・5人乗りもOKだとか

3. JETRO訪問（独立行政法人日本貿易振興機構）

サミット前日の7月26日に訪問した「ジェトロ・ホーチミン事務所」では、会社設立、投資など日本企業のベトナム進出の支援や進出した日系企業の支援、日系企業へのセミナー、ベトナム南部の経済・貿易・投資動向などの調査、ベトナム国内での特許・商標・実用新案等の知的財産権保護活動などの支援などを行っており、

土日・ベトナムの祝祭日以外に開館し、情報提供を行っている機構で、ベトナム全体の物流網や大型インフラ案件・経済の状況や市場としてのベトナム・人口の推移など、説明を受け理解を深めることが出来ました。



JETROの入居ビル



JETRO事務所で記念撮影

4. ESUHA I 訪問（現地学校法人）

同じく7月26日に訪問した「ESUHA I（実習生教育機関）」では、日本企業向けのベトナム人人材育成のために、技能実習や技術者育成などを行い、ベトナム国内の日系企業や日本への人材派遣などコンサルティングを行っている学校でした。

同学校の事業内容説明後に各実習教室で実習生の様子や教室内での挨拶交流を行いました。どの生徒も同じくまなざしが輝いており、日本からの訪問者にアピールしようという気持ちが伝わって、日本の若者は、うかうかできないと感じました。



ESUHA I 授業中の様子



ESUHA I 入口で記念撮影

5. 夜景サミット2016 inベトナム

今回の主訪問目的である夜景サミットについては、ベトナム自体に、高層ビルからの夜景や船上レストランの夜景などの夜景観光はあるものの、国が特に力を入れているというわけではなく、今回は、一般社団法人夜景観光コンベンションビューローが主催した、夜景サミットに参加した日本の各都市の夜景観光PR的な要素が大きく、日本の各自治体（長崎・横浜・札幌・足利・神戸・藤沢・黒部・伊東）各市が参加しプレゼンを行い、ベトナムの旅行エージェントとの商談で日本に呼び寄せることが目的ではありましたが、日本の各都市ともに宿泊が期待できる夜景観光に力を入れていることが理解できました。

長崎の夜景が世界新三大夜景や日本新三大夜景に選ばれたことは、素晴らしいことですが、長崎の夜景が地形と生活の光から創られていることを考えるときに、斜面地の人口減少がどのように影響していくのかなど、今後、検討をするべきであると感じました。

今回、ベトナムを訪問して感じたことは、生産労働人口が多く、国の経済対策やインフラ整備などが進めば、どんどん伸びる国であると感じましたし、国民がもっと豊かになれば、海外にも目を向け訪日も期待できるのではないかと感じました。

ただ、今は国民の多くがバイクを交通手段としている中で、渋滞が発生している現状を見ると、もっと経済成長が実現し多くの国民が自動車を持ち出した場合、どうなるのだろうか心配になりました。

そうなる前に交通ルールやマナー、信号などのコントロールをしなければ、それ自体が大きな問題となるような気がしました。

いずれにしても、現地で実際に見たり聞いたり感じたことは大きな経験となりました。

参加させていただいたことに感謝し、報告と致します。



主催者、丸々もとお氏より挨拶



ホーチミン観光協会副理事長挨拶



田上、長崎市長挨拶



長崎市からの参加者



日本夜景応援大使任命(ベトナムの女優さん)



長崎市のプレゼン



市内視察(統一会堂)



市内視察(戦争証跡博物館)